

東レエンジニアリング西日本は、エンジニアリング、マニファクチャリング、メンテナンスの3事業を柱とし、安全で高品質な製品を提供できる真の長期安定成長企業を目指します

2022年5月20日 全社職場代表協議会開催

当社は、「従業員代表制度」を採用し、年2回（5月・10月）開催される全社職場代表協議会で、労使間の協定の締結・運用、各種交渉、調整等を行っています。協議会では、まず経営陣から会社の運営や労働時間管理の状況等についての報告があ



りました。その後、各職場で出された会社に対する要望や質問事項について、職場代表委員と経営陣とで活発な意見交換が行われました。

また、当社は来年創立50周年の記念の年を迎えます。その記念行事についても各職場からの意見を持ちより、打合せをしました。記念の年を全従業員や関係者のみなさまと祝えるよう検討していきます。

（担当部署：総務部 Tel:077-534-0956）

工作機械の紹介

機器事業部 機器部

機器事業部 機器部では、各々役割を持った工作機械を使用し、金属の角材を図面指示通りの形状へと加工しています。機器部の工作機械には、NC制御で切削加工を行う横中ぐり盤【写真1】、門型5面マシニングセンタ【写真2】、門型5軸マシニングセンタ、汎用機ではプレーナーがあります。

また、研削加工では平面研削盤(横軸)、平面研削盤(立・横軸)、超精密平面研削盤(横軸)を保有し、最終仕上げ面の面粗さや真直度および平面度は、非常に高い加工精度の要求を満たすことが出来ます。

各工作機械によって、最大3,000mmのワークを加工することが出来ますが、機器部では2023年2月に新たな設備として、2,000mmのワークを加工することが出来る、立型マシニングセンタを導入し業務の幅を広げていきます。



写真1：横中ぐり盤



写真2：門型5面マシニングセンタ

ちりつも作戦⑨

制御盤の中には多くのラベルや表示が貼られています。制御盤内の部品一つずつの名称などを示す機器ラベル。またケーブルには、配線ミスを防ぎ、後々のメンテナンスを容易にするため、配線番号や記号が印字されたマークチューブを表示として取り付けます。

機器ラベル印刷機やマークチューブ印字機を操作する際、以前はイスに座って操作していましたが、机をスタンディングデスクに変更し、立ったまま作業ができるようにしました。

スタンディングデスクを使用することで、作業スペースが削減でき、また作業者の立ち座りの動作の削減にもつながり、効率アップすることができました。



公益財団法人日本ユニセフ協会への寄付

当社は、よき企業市民として、地域づくりや未来世代育成に役立つ活動をはじめとした社会貢献活動を推進しています。

現在世界中で進行している武力衝突や新型コロナウイルスの流行などの深刻な人道危機に対し、日本ユニセフ協会からの「人道危機下の子どもの命と未来を守るための協力依頼」を受けて、寄付を実施しました。

【ボート競技】第 100 回全日本選手権大会 準優勝！

当社従業員の江本拓斗選手が、東レ滋賀ボート部の一員として、5月12日から5月15日に海の森水上競技場で開催された第100回全日本選手権大会に舵手付きフォアで出場し、準優勝しました！

また、5月1日から5月4日に滋賀県立琵琶湖漕艇場で開催された第73回朝日レガッタでは、エイトで優勝し4連覇達成しました！！

今後とも応援よろしくお願いします。



一番右が江本選手

全日本選手権 表彰式後